

令和2年3月19日

新型コロナウイルス対策関連で 危機管理室に質疑しました

住本 質問 危機管理室では、「神戸市災害時物資供給マニュアル」というものがある。しかしながら、今回の新型コロナウイルスのような感染症対応にはなっていない。市民がマスクや消毒液等の確保に困っている中、感染症対応の物資供給マニュアルを見直しするべきと考えるが見解を伺いたい。

山平 危機管理監 「神戸市災害時物資供給マニュアル」は自然災害対応になっており、今回のような感染症対応にはなっていない。今回の感染症に対しては、10年前の新型インフルエンザの経験も検証した訳だが、その時には備蓄に関しては反省点としてこういった備蓄品が上がってこなかったこともあり、今回はマスクや消毒薬等は備蓄ができていない。ただし、今回のような、全国的にマスクや消毒液が不足する中、こういった事態になり、中国からの出荷も止まっている状況も踏まえて、備蓄体制の見直しも含めて新たな備蓄の検討をしていきたい。

住本 要望 自然災害時に加えて、感染症対策もこの物資供給マニュアルにしっかりと盛り込むべきである。このマニュアルには県との物資供給連携もされており、これが適応されれば、市内で不足しているマスクを、兵庫県から100万枚も中国に送ることも無かったと思われる。もちろん各学校現場や、医療機関の現物備蓄は必要であるが、危機管理室で備蓄状況を一元管理し、こういう事態では融通できるよう指揮系統の構築を要望する。

Q1 教育委員会組織風土改革について

住本 質問 教育委員会組織として次々と問題が明るみになっている。組織のガバナンス強化として、来年度は管理室や地区統括官(エリアマネージャー)を新設するとともに、外部の教育管理役や学校支援専門官を設置するなどの組織体制の強化が予定されている。しかし、管理室の室長は、総務部の担当課長が移行し、地区統括官は校長経験者を任命するなど、教育委員会組織内部の教職員の人事配置による体制下では、組織風土改革が十分に進まないのではないか。

長田 教育長 教育委員会のガバナンス強化のため、教育管理役の登用や管理室の設置または、弁護士の学校法務専門官、臨床心理士等の学校支援専門官を配置するなど、外部人材を積極的に活用していくこととしている。なお、管理室は学校現場や各部署と横断的かつ密接に連携を図る必要があるため、独立性を持たせることでより機能を発揮できると考えている。新たに地区統括官を配置して、担当地区の学校へ定期的に訪問し、学校や教職員の状況を適時確認するとともに、教育委員会事務局の各所属と綿密に連携を図りながら、学校の抱える課題解決の必要な支援や指導を行うこととしている。内部の人事配置体制下では、組織風土改革が十分に進まないのでは、というご指摘に対しては、校長の中にはひとつの学校では手に負えない重大な事案についても、なお自校で解決を図ろうとする意識があることが、有識者会議の中でも指摘されている。複雑化、多様化する教育課題に的確かつ、機動的に対応していくためには、やはり校長と相談しやすい人物が、学校と教育委員会事務局のパイプ役となることが不可欠と考えている。



▲ 須磨海釣り公園

住本 再質問 地区統括官がそもそも学校籍や教職員OBであれば、当然これまでの学校園とのしがらみが発生する恐れがある。例えば、これまでの先輩後輩や、同期の間柄などで地区統括官をしている場合が予想される。そのような人間関係の中での現場の情報が正しく伝わるのか危惧している。これまでも、垂水区のメモ隠蔽、東須磨小教員間事案での現場の隠蔽的な歪曲した報告が、事を大きくしてきた経緯がある。結局は職員の意識改革が必要となるが、現場で隠蔽されたりすれば地区統括官へも正しく情報が上がってくるのか。

長田 教育長 この地区統括官は教員籍でしか務まらないと思っている。校長の経験もあり、学校の立場にも寄り添いながら、事務局の管理職の経験もある者が両方の立場をしっかりと理解し学校法務専門官に情報を上げていくことが非常に重要なことだと思っている。教職員の意識については、教育委員会事務局と一緒にしてお互いに相互に理解することで、ガバナンス強化を進め、意識改革、共有し、研修制度の再構築と組み合わせながら進めていく。

住本 要望 地区統括官が教育現場の問題や課題をしっかりとくみ取り、管理室に上げていくことで、教育現場だけで抱え込まないように風通しの良い組織に改編を希望する。また、外部人材登用により、当事者意識に寄り添った対応を要望する。

Q3 須磨浦公園の活性化について

住本 再質問 須磨区内の都市公園でも、桜の名所である須磨浦公園は潜在的な魅力を含めた公園である。しかしながら、年間を通じてのにぎわいづくりが十分でないのが課題として感じている。須磨浦山上遊園や、休止中の再整備が調査検討されている須磨海釣り公園などの周辺施設を一体的にして民間活力を導入しての再整備を検討できないか。

油井 副市長 須磨浦公園については海釣り公園や山陽電鉄が運営する須磨浦山上遊園があるなどの地域の観光資源である。昨年度からは、当公園が発祥地である須磨浦普賢象という桜を活用して魅力向上にも取り組んでいるという状況である。一方で、集客力を持つ須磨海釣り公園については、現在は休止中で令和2年度には再整備について検討を行う予定である、その際には、民間事業者による魅力向上の可能性についても視野に入れて考えているところである。今後、須磨浦山上遊園についても、山陽電鉄などの民間事業者等と調整を図りながら、須磨海釣り公園等の周辺施設と連携して民間活力を導入した魅力作りに検討していきたい。

住本 要望 休止中の海釣り公園や、六甲山縦走の入り口でもある須磨浦公園は、海と山が隣接するアウトドアの拠点となるようなポテンシャルが高い公園である。須磨海浜公園の再整備も計画される中、須磨浦公園においても、桜の季節だけでなく年間を通してのにぎわいづくりが必要だと考える。

「身を切る改革」実行中!

消費税が10%に増税され、半年も経たないうちに新型コロナウイルスが追い打ちをかけ、経済が大打撃を受けています。このままでは、今年度の税収減が予想されます。私たち維新の議員はまずは「身を切る覚悟」で行財政改革を推し進めて参ります。

月額報酬手取り額20%相当12万円を被災地等に毎月寄付しています。

令和元年度	1,440,000円
寄付状況	●日本赤十字西日本豪雨災害義援金 ●福島県東日本大震災ふくしま子ども寄付金 ●台風15号千葉県災害義援金 ……など
令和2年度(1・2・3月分)	360,000円
	●那覇市首里城復旧・復興支援募金

● 市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております

公式サイト <http://www.k-sumi.jp>

住本かずのり 検索

E-Mail suma@k-sumi.jp

住本かずのりのオフィシャル Facebook

●発行: 日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 1号館29階
TEL: 078-322-0185 FAX: 078-322-0184
神戸市須磨区支部
〒654-0051 神戸市須磨区月見山本町2丁目6番15号
TEL: 078-735-8231 FAX: 078-735-8231

市政相談
受付中